

SEMI G6-89

検査方法 封止リング平坦度

免責事項:この SEMI スタンドアードは、投票により作成された英語版が正式なものであり、日本語版は日本の利用者各位の便宜のために作成したものです。万が一英語と日本語とに差異がある場合には英語版記載内容が優先されます。

1 序文

本仕様は、封止リングと封止リング上の固定された 3 点によって定義される基準面との間の最大偏差を決定する方法に関するものである。この方法は 8.382 mm (0.330") $\times$ 8.382 mm (0.330") 以下の部品には適用されない。

2 装置

- 2.1 平面プレート ± 0.000835 mm (± 0.000025 ") に調整された黒みかげ石、又は同等のもの
- 2.2 取り付け具 --- 3ヶ必要(図 1 参照)
- 2.3 取り付けベース(図 1 参照)
- 2.4 テストインジケータ(ハミルトンクウィックチェック又は同様のもの)

3 準備

- 3.1 取り付け具は測定部分に合わせるこゝ(図 2 参照)。
- 3.2 測定具は、各サンプルの測定前に、精密グラインドゲージブロックを用いて校正すること。
- 3.2.1 ゲージブロックを取り付け具位置箇所に置き、正しい位置にくるようにセンターシリンダを解放する。

3.2.2 取り付けベースをテストインジケータのポイントがゲージブロック上にくるように配置する。

3.2.3 取り付けベースをテストインジケータのポイントがゲージブロック全面を横切るように動かす。テストインジケータに示される総偏差は 0.013 mm (0.0005") をこえないこと。

4 手順

- 4.1 パッケージ封止リング及び取り付け具位置を決めるために、パッケージを 3 箇所の取り付け具位置に置き、正しい位置にくるようにシリンダを解放する(図 2 参照)。
- 4.2 取り付けベースをテストインジケータのポイントが、パッケージ封止リング上にくるように配置する。
- 4.3 取り付けベースをテストインジケータのポイントが、封止リングの縦方向に移動させる。
- 4.3.1 取り付けベースをテストインジケータのポイントが、封止リングの中央にあるように移動させる。
- 4.3.2 テストインジケータは 3 点の取り付け位置を回すようにして、2 度その位置をかえること。

5 評価

封止リング上に積った物質が肉眼で見える場合、その部品はこの測定には使用しないこと。

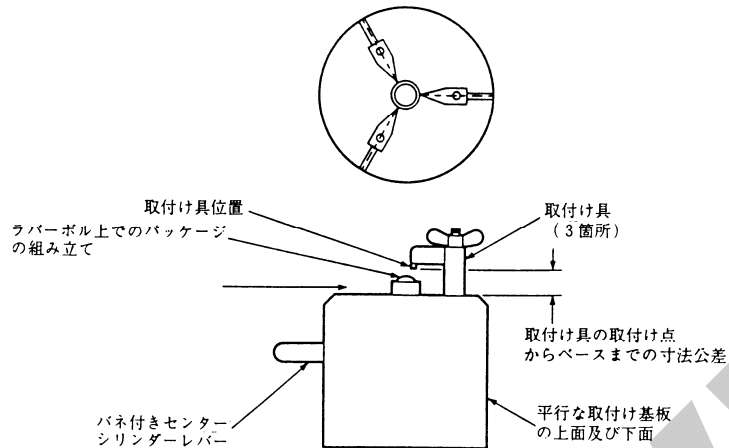
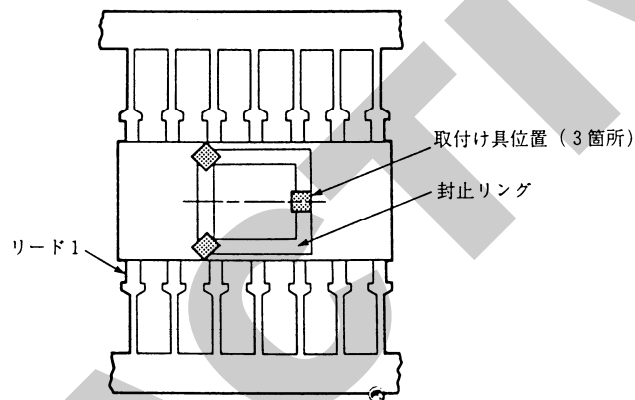


図 1

取付けベースと取付け具の組み立て



取付け具はリード1に最も近い端の封止リング対角線上とセラミック中央線の反対端に配置される。
対角線上の取付け位置は封止リングの外にはみ出さないこと。中央線上の取付け位置は封止リングの縁の外にはみ出さないこと。

図 2

取付け具配置方向

注意：このスタンダードは、スタンダードの使用に関連した安全性の問題に取り組むことを目的としていない。本資料を使用する前に適切な安全と健康のための措置を講じ、規定上の制限事項の適用について判断することは、このスタンダードの利用者各位の責任となる。SEMI は、本書に定められたスタンダードが個々のケースに適するか否かの保証も言明もしていない。スタンダードの適、不適を判断するのは、利用者各位の責任となる。また利用者各位は、ここに記載されている製造者の指示、製品ラベル、製品データシート、そのほかの関連文献を必ず参照のこと。なお、このスタンダードは予告なしに変更されることがある。

このスタンダードに従うために、著作権で保護された資料または特許権で保護された考案を使用する必要性が生じる可能性がある。このスタンダードを発行することにより、SEMI は、このスタンダードの中に記載された各項目に関連する特許権または著作権の効力の有無について責任ある立場にはない。各特許権または著作権の有効性および権利侵害の危険性についての判断は、このスタンダードを使用する利用者各位の責任である。